

皆さん、おはようございます。そして、新年明けましておめでとうございます。

12月21日の2学期終業式でお話ししてから、まだ20日も経っていませんが、その間に、2018年から2019年に年が改まりました。短い期間でしたが、皆さんは、どう過ごしましたか。そして何を思いましたか。「1年の計は、元旦にあり」といいます。正月の意義は、新しい年になった機会に気持ちを一新して、その年の決意をし、意欲を充実させることにあります。平凡な生活の繰り返しにけじめをつけることは、人間の素晴らしい英知だと思います。

ただ私の年末年始は、ホントに自堕落な生活で、ほとんど家にいて、テレビを見ておりました。「紅白」や「ガキ使」、「昆虫すごいぜ」も見ました。私は「劇場版」といわれるアニメを、劇場で見たことは、ほとんどありません。たいてい、1年遅れの「地上波初放映」で見ているのですが、今年は、「Fate/stay night」と「ご注文はうさぎですか」の劇場版を見ました。

でもやはり年末年始は、高校、大学、社会人と多くのスポーツが中継されていましたので、それを楽しみに見ていました。駅伝、ラグビー、サッカー、アメリカンフットボールなど、いろいろな競技が行われていましたが、そこで私が強く感じたのは、「人と人とを繋ぐ」ことの大切さです。駅伝では、もちろん襷ですね。他の競技でも、得点に至るまで、ボールを繋ぐということです。そして思ったのは、いかに繋ぐかが大切で、そして大変難しいということです。渡す方は、タイミングを図り、どのようにすれば受け取りやすいかを考え、渡される方は、周りの相手や味方の状況をよく見て、どの位置にポジショニングすればいいか、走り込めばいいか、どのように声を掛ければ、渡しやすく、なおかつ効果的かを考えなければなりません。でもそんなことは、一朝一夕にできるものではありません。強いチームほど、日々の練習やミーティングなどを積み重ねることで、単に襷やボールだけでなく、相手への思いやりなど、心もしっかり繋がっているなと感じました。

四條畷高校の現在があるのは、皆さんの先輩が、私たちの先輩教職員が、四條畷高校という襷やボールをしっかりと繋ぎ、私たちに渡してくれたからに他なりません。そして、私たちも、先輩から受け継いだこの襷やボールをしっかりと後輩に繋がなければなりません。そのために、この1月から3月までの3ヶ月間をしっかりと過ごしてもらいたい。卒業する3年生は、2年生、1年生にしっかりと畷高の襷やボールを渡してもらいたい。2年生、1年生は、それをしっかりと受け取り、やがて入学してくる後輩にも、四條畷高校の素晴らしさを伝えてほしい。そうした絶えることのない繋がりが、四條畷高校の未来が生まれてきます。私の年頭の決意は、これまで先輩が繋いでこられた四條畷高校という襷やボールを、確実に、そしてさらによりよいものにして、皆さんとともに、未来に繋げることです。そのためには、まずは、生徒の皆さんや私たち教職員が、心も体も元気で、一人ひとりが、安心してその力を十分に発揮できるよう、努めることだと思っています。

この冬休みの部活動の練習中に、トレーニングルームで、大きな事故があり、大ケガをした人がいます。ケガをした人はもとより、関係するすべての皆さんにつらい思いをさせたことを、深くお詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。2度とこんな悲しいことのないように、再発防止に向けて、トレーニングルームの機器の点検、使用についての講習会の実施やルール作りなど、皆さんが安心してかつ効果的に使ってもらえるための取組みを進めていきます。それまでは、トレーニングルームの使用を中止します。ご不便をおかけしますが、協力をお願いします。

最後に3年生、いよいよ自己実現の本番の時期を迎えます。不安や悩みがあると思います。それは当たり前のことです。受験生なら、誰もがこの時期、不安や悩みで一杯です。必要以上に気に病むことはありません。皆さんなら、最後までやり抜いてくれることと信じています。

B e l i e v e i n y o u r s e l f

ですよ。

「B a b y S t e p s」というテニスの漫画がありました。好きな漫画だったのですが、突然、連載が終わってしまったのがとても残念です。そのアニメ第1期のオープニングテーマが、「B e l i e v e i n y o u r s e l f」でした。翫高祭の第3芸能で、歌ってくれたグループもありましたね。私も負けずに歌います。そして、その歌を、ここにいるすべての皆さんに贈ります。

やれるだけやり切ったかなんて自分しか分からない
だから自分に嘘つくな 自分にはズルするな
誰かと自分を比べるよりも 己を誇れる人になりたい
自分を投げ出さず生きた今日を 褒め続けられる日々を送ろう
君にしか分からなくたって楽な道は選ぶな
最後に報われるのは逃げずに居た君自身だから
…B e l i e v e i n y o u r s e l f

(作詞：阿部真史)

そして、この1年が、生徒の皆さん、そして我々教職員、ここにいるすべての人にとっていい年であることを期待して、私の挨拶を終わります。みんなで、いい年にしましょう。